



陵陽

令和7年(2025年)3月25日(火) 第14号

～修了式代表生徒の挨拶～ 「1年生で頑張ったこと 2年生で頑張りたいこと」

1年 ●●●●

私が1年生のうちに頑張ったことは2つあります。

1つ目は、生徒会活動です。「生徒会役員の先輩方がかっこよい、学校のために自分も何かしたい」という気持ちで立候補しました。8月から始まった立会演説会に向けて、応援責任者と共に頑張ってきました。大変なことや、何をすればよいのか分からないことも多くありましたが、先輩や先生方に優しく教えていただきました。そのおかげで自ら積極的に動き、何をすればよいか判断して、一生懸命頑張ることができました。

2つ目は、部活動です。バドミントン部に入った頃は、打ち方や試合のルール、どう動けばよいか分からず苦戦したことの方が多くありましたが、先輩や顧問の先生が優しく教えてくださったおかげでいろいろと学ぶことができました。最近では大会に向けて、自分の打ち方、どのように動いたら試合に勝てるのかを考え、アドバイスをもらいながら頑張ることができています。

2年生で頑張りたいことはたくさんあります。特に生徒会活動を頑張りたいと考えています。2年生になってもすぐに新入生歓迎会や生徒総会などの行事がたくさんあります。1年生のうちにできなかったことや、どうすればよいか分からなかったこと、学校のためになることを自分でできるように工夫し、役員と協力しながら積極的に考え、いろいろなことを学び、1年生で得た経験をもとに、今まで以上頑張りたいと思います。

◇◆令和6年度 学校関係者評価について◇◆

学校関係者評価委員会が2月27日に行われ、学校評議員、PTA副会長、小学校、中学校関係者合わせて7名が参加しました。学校関係者評価の目的は、①教育の質の保証と向上、②学校運営の改善、③信頼される開かれた学校づくりを目指すためにあります。教育活動や学校運営の改善への取組が適切かどうかを委員の皆様から意見等をいただき、学校評価がまとめられました。

今回の学校関係者評価会議においてたくさんの貴重なご意見が出されました。その一部を紹介します。詳細につきましては、本日中にホームページに掲載いたします。

<経営方針について>

「学校は、保護者や地域に学校だよりや学校ホームページ等による情報発信をし、信頼される学校づくりを行っている」の保護者の評価が高く、今後も「すぐる」やHPなどの様々な媒体を使い、学校経営方針、学校の取組や様子、学校が目指す具体的な生徒像、小中一貫した教育の連携している内容などを発信してほしい。

<学習指導>

「学校は、チームティーチング(TT)や少人数を取り入れるなして、個に応じたきめ細かな指導を行っている」の数値が保護者と生徒がやや低いのは、学校としての「個に応じた指導」の取組や指導方法を保護者が理解できていないことが一番の原因であり、指導内容やねらいについて周知することが大切である。また、学習が遅れがちな生徒に対するサポートのみならず、生徒や保護者が求めているニーズに合致しているのか、根本的な原因を分析し、指導方法を改善する必要がある。

<生徒指導>

「学校は、時間や学校のきまりの遵守、あいさつなど基本的な生活習慣が身に付くよう指導している」の生徒・保護者の評価が高い。今後も陵陽中学校の伝統である「あいさつ」を強化するために、生徒会活動を工夫・充実させて、あいさつを自主的・積極的にできる生徒の育成を目指してほしい。そのためには、教職員が自ら手本となる必要もある。

◆◆◆ 3月で陵陽中学校を去られる教職員からの挨拶◆◆◆

教頭 一関 浩

陵陽中学校では、3年間大変お世話になりました。その間、多くの先生方、保護者の皆さまに支えられたことを大変感謝しております。人懐こく、素直で、何事にも一生懸命な子どもたちとの素晴らしい出会いに恵まれ、改めて自分自身の幸せを感じております。これからも陵陽中学校のよい伝統を引き継ぎ、素晴らしい学校づくりをしてください。生徒の皆さんのご活躍を心から応援しています。本当にありがとうございました。

津村 昌彦 (保健体育科)

コロナ禍でスタートした陵陽中学校での生活も、気づけば5年が過ぎました。本当に時間はあっという間に過ぎてしまいます。陵陽中の皆さんとの「別れ」は、少し寂しさもありますが、次の勤務先でも新たな「出会い」を大切に、中学生に負けないよう、明るく、健康に学校生活を送りたいと思います。皆さんも、夢や目標に向かって、突き進んでください。お世話になりました。ありがとうございました。さようなら。

蜂屋 佳史 教諭 (国語科)

6年間大変お世話になりました。赴任1年目の年度末に新型コロナウイルスによる一斉休校が始まりました。振り返れば、様々な出来事を経験した6年間でした。多くの方々のご支援で6年の勤務を終えられたこと、心より感謝申し上げます。

佐藤 典明 教諭 (保健体育科)

本校では、僅か1年の勤務でしたが、お別れとなります。

1年生とは、体育を担当したほか、保健の授業でも楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。2年生とは、道徳や学年朝学活などでお話を聞いてもらったり、宿泊学習や体育大会などの行事が良い思い出となりました。気が付けばたくさんの生徒と仲良く楽しい毎日をお過ごしようになりました。本当にありがとうございました。

私はあと1～2年働こうかな、と思っていますが、この学校のことを時々思い出しながら頑張っていこうと思っています。陵陽中学校の皆さんも元気に頑張ってください。大変お世話になりました。さようなら。

浦川 貴史 教諭 (社会科)

陵陽中学校では1年間お世話になりました。校務では、PTAを担当していましたが、PTA事務局の保護者の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。

横田 拓己 教諭 (音楽科)

明るく素直な生徒の皆さんと、毎日充実した生活を送ることができました。授業を通して、皆さんが少しずつ変わり、成長していく姿を見ながら、自分自身たくさんのことを学ばせてもらいました。皆さんの残りの中学校生活が、一人ひとりにとって充実したものになることを心から願っています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、一年間多くのご支援いただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

竹内 喜久代 教諭 (特別支援)

6年間、大変お世話になりました。練習すれば、コツをつかめば何でもできるようになってしまう中学生の皆さんに、無限の可能性を感じる6年間でした。少し離れてしまいますが、皆さんと過ごした日々を思い出に、新しい場所でまた頑張ろうと思います。今までありがとうございました。

尾崎 成美 教諭 (英語科)

6年間、大変お世話になりました。陵陽の生徒の良いところは、何と言っても「人懐っこさ」と「ボランティア精神旺盛」なところだと思います。転勤してきたばかりの頃、緊張していた私でしたが、たくさんの人が笑顔で話しかけてくれ、お手伝いも積極的で、私自身があっという間に陵陽の一員になれたと感じたことを今でも覚えています。そんな明るく素直な生徒のいる学校で過ごせた日々は大変楽しく幸せでした。また、保護者の方に支えられた6年間でもありました。この場をお借りし感謝申し上げます。本当にありがとうございました。陵陽中のますますのご発展をお祈りしています。

保木本 光洋 教諭 (特別支援)

1年間という短い時間でしたが、素直なお子様たちと貴重な中学校時代の共に過ごすことができ、たいへん幸せでした。お子様だけではなく、保護者の方々や地域の方々にもいつも温かく支えていただいたこと、心より感謝いたします。これからもお子様の健やかな成長と、陵陽中学校の益々の発展を心よりお祈りしております。

畑 あみ 養護教諭

明るく素直な生徒の皆さんに元気をもらっていました。心とからだの健康を第一に、これからも元気にご活躍ください。応援しています！お世話になりました。ありがとうございました。

伊藤 公一 拠点校指導教員

1年間お世話になりました。毎朝の玄関でのあいさつ、明るく楽しい授業風景が印象として残っています。

1・2年生の皆さんは、4月から進級します。「優しくカッコいい」先輩になってください。期待しています。

<お知らせとお願い>

○来年度の4月行事予定表(暫定版)と年間行事予定表(暫定版)を配布しました。(確定版は4/8に配布)

○春休み中は転送電話に設定されます。平日は8:30~16:30の間は通話が可能です。

~今年度も本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました~